

発言No. 1

受付No. 11

令和 3 年 8 月 24 日
9 時 25 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 6 番 氏名 柳楽 真智子

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 新型コロナウイルス感染症について

(1) コロナ禍における影響について

- ① 全国的に若者のワクチン接種控えが懸念されています。ワクチン接種によって不妊になるとか、マイクロチップが埋め込まれるなどと、不安をあおるデマがSNSで流されていることが大きな原因と考えます。浜田市においては、この不安払しょくのためにどのような情報発信がなされているか伺います。
- ② コロナ禍にあって、社会的孤立が問題となっています。感染者の増加によって益々外出の機会が減って、それがきっかけで出かけることがおっくうになり、引きこもりになるケースもあります。厚生労働省は昨年10月に引きこもり支援として、①相談窓口の明確化と周知、②対象者の実態やニーズの把握、③市町村プラットフォームの設置・運営の3点について推進するよう、全国の自治体に通知しています。浜田市のそれぞれの取組状況について伺います。
- ③ コロナの影響により、若者の孤立や生活苦が心の負担となって、うつ状態となる人が増加しています。兆候の早期把握と適切な対応を行うために、今年4月からインターネット上で心の健康チェックができる、「KOKOROBO」というサイトが開設されました。重症化を防ぐための有効な対策として期待されていますが、浜田市でもこのサイトを市民の皆様に周知する考えはないか伺います。
- ④ 感染者の多い首都圏では病床確保が追いつかず、本来なら酸素吸入などの対応が必要な感染者が入院できず、命の危険にさらされる状況が増えています。浜田市も毎日のように感染者が発生しており、今後感染者が入院できない状態になるのではと、心配される声をあちこちで伺います。浜田市の現状について伺います。

(2) ワクチン管理について

- ① 今後、大型台風がやってきた場合、大規模な停電が発生する可能性も考えられますが、本庁並びに各医療機関で保管されているワクチンの管理について、最悪の状況を考えておく必要があると思います。どのような管理体制を考えられているのか伺います。

2. 医療的ケア児に対する支援について

(1) 経済的支援について

- ① 医療的ケアが必要な子どもの治療について、市内医療機関で対応できない場合県外の医療機関を利用しなければならないケースがあります。県外に入院している間、毎日病院へ通われるというお話を伺いました。まさに医療格差による弊害だと言わざるを得ません。治療を受ける子どもはもちろん、保護者にとっての精神的・肉体的・経済的な負担は計り知れないものと考えます。浜田市として何らかの支援を行うことはできないか伺います。

(2) 必要とされる支援について

- ① これまで医療的ケアが必要な子どもの保護者に対して、ニーズ調査は行われてきたのか伺います。
- ② 学ぶ機会の確保については、看護師等の医療行為を行える人材の確保が重要です。今年の6月11日に「医療的ケア児支援法」が成立し、9月から施行されました。この支援法では、医療的ケア児の居住地に関係なく、等しく適切な支援を行うことを国や自治体の責務と明記しています。この法整備によって適切な支援が行われることを期待しておりますが、今後支援の充実をどのように図られるのか伺います。
- ③ 通学支援についても大きな課題があるものと考えています。現在、医療的ケアの必要な子どもは県立江津清和養護学校に通われていると思いますが、どのように通学されているか伺います。

3. 介護予防について

(1) 介護予防の取組の効果について

- ① 浜田市でも地区サロンや住民グループ等で「100歳体操」が行われています。筋力維持は寝たきりにならないためにも大変重要です。愛知県尾張旭市では「寝たきりにさせないまちづくり」を掲げ、市が育成する「健康づくり推進員」の指導により、「らくらく筋トレ体操」が行われています。推進員から自分たちの活動の効果を検証してほしいとの声を受け調査したところ、推進員が指導しているグループでは、歩行速度の成績が毎年向上し、階段の上り下りなどで使う脚伸展筋力は、4年後で向上していることが分かったとのことです。やはり、取組の検証を行うことが重要だと考えますが、浜田市の介護予防事業の効果の検証はどのようにされ、どのような効果が表れているか伺います。